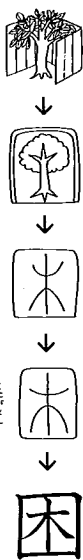


困

六年 画数 7
筆順 □ 困 困
オン コン
クン こまいる

成り立ち



周囲を「取り囲む」という意味の「くはま」と、「木」とを組み合わせて作った字です。

周囲をぎっしりと取り囲まれて、そのため木がのびられないで、「こまる」ことを表した字で、「こまる」という意味を表した字です。「苦しみなやむ」ことです。

使い方

▽家に帰る途中、にわか雨にしまいました。かさをたなかつたので困りました。

▽遅刻しそうなので急いで家をとび出しましたが、わずれ物をしているのに気がついた時には、どうしたらよいのか、ほんとうに困ってしまいました。

▽困難に出会うとすぐに参ってしまう人と、困難に会えば会うほど、勇気が出て来る人があります。

熟語例

▽困難（困ることや難しいこと。解決し難い困ったこと。単に「難しい」という意味にも使います。例出席は困難だと思えます。）

▽困苦（困ることや苦しいこと。また、「困り苦しむ」と。また、「大変な苦しみ」の意味にも使います。）

▽困惑（惑は「ああしたらよいか、こうしたらよいか」と、迷ってばかりいて決心がつかない）「困り惑う」こと。）

▽困窮（窮は「極まる」こと。困り窮まること。これ以上は無という困り方。特に、「貧困」の意味）

▽貧困（貧しくて困っていること。「大変に貧しい」こと。お金に限らず、考えの貧しい意味にも使う。）

砂

六年 画数 9
筆順 砂 砂 砂
オン サ・シャ
クン すな

成り立ち



「小さい物をさらに小さくする」という意味の「少」と、「石」とを組み合わせて作った字です。

「石」を小さい上にも小さくした「すな」を表した字です。

石が細かくくだかれてできた「すな」のことです。また、「すな」のような状態の物の意味にも使われます。

例 砂糖

「水の少ない荒地地を「沙」と言う（今は「沙漠」と書くが、元は「沙漠」と書いた。漢は「水が莫い」の意味の字である）。砂は、「沙漠の石」の意味で、「沙」の俗字である。」

使い方

▽わたしは「月の砂漠」という歌が好きです。美しい王子様と王女様が、金と銀のくらをつけた馬に乗って砂丘をこえていく姿を思い浮かべると、うっとりします。

▽ぼくは小さいころ砂場で遊ぶのが好きで、服を汚して帰っては、よくおかあさんにしかられたものでした。

おまけに服をぬぐと、砂がバラバラと落ちて、床が汚れて、おかあさんを困らせました。

熟語例

▽沙漠（砂ばかりでできた広大な土地。雨が少ないので植物が育たない荒れはてた土地）

▽砂丘（砂でできた丘。風に砂が吹き寄せられて、できたもの）

▽土砂（土と砂。「土砂降り」といえば、土砂をたたきつけるような激しい雨降りのことです。）

▽砂糖（砂のようにサラサラした小粒の甘い調味料。サトウキビなどから精製して作られます。）

▽砂場（砂をしいて子供の遊び場にしたもの。また、砂が多く、そこから砂を取る場所の意味にもつかいます。）